

大学院農学研究科食料生産学専攻植物工場システム学コース  
農業機械システム工学教育分野（助教）の募集

1. 対 象 者

- (1) 所属・職名 : 大学院農学研究科 食料生産学専攻 助教 1名  
教育組織 : 植物工場システム学コース
- (2) 教育分野 : 農業機械システム工学  
持続的に安定した食料生産を行なうべく、植物工場をはじめ施設型農業への支援技術として、各種作業及び農産物情報を収集する知能ロボットの開発、流体工学的手法に基づいた施設内の気流制御技術の開発、ならびに農業生産現場における環境負荷低減のための省エネルギー型農業機械の開発など、農業を産業として支えるために必要な工学的技術やシステム開発に関する研究教育を行う。
- (3) 資格条件 : ア. 博士の学位を有する者、又は取得見込みの者  
イ. 農業機械及び農業ロボットの性能向上に関する研究業績を有し、農業機械システム工学に関する教育研究に協調性を持って取り組める者  
ウ. 愛媛大学先端農業R&Dセンターの活動に積極的に取り組める者  
エ. 決定次第、可能な限り早期に着任可能な者
- (4) 任期 : 5年（テニュア教員育成制度）  
※ 愛媛大学のテニュア教員育成制度は、優れた能力開発プログラムを提供することに加え、財政的支援（研究費の配分等）を行うことで、若手教員の教育研究環境を充実させ、大学人としてふさわしい総合的な能力を有する教員を育成することを目的としています。任期中に審査に合格した者はテニュア職（終身雇用）に移行します。詳しくは、注）をご覧ください。
- (5) 雇用条件 : 給与は、年俸制を適用する。
- (6) 担当授業科目 : 大学院：植物工場システム学コース及び農業機械システム工学教育分野に関連する講義、演習、実験、実習及び修士論文等を分担  
学部：植物工場システム学コース及び農業機械システム工学教育分野に関連する講義、演習、実習及び卒業論文等を分担、その他（共通教育科目及び教職科目）

2. 提出書類

- (1) 履歴書 : 所定様式 1通  
(所定様式は下記からダウンロードしてください。  
<https://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>  
お問い合わせ>教員公募に関する事>履歴書様式)
- (2) 研究業績等目録 : A4版横書き（論文別刷り、著書及び参考資料各添付）  
学位論文—題目、年  
著書—書名（編、単著、共著、分担）、総頁数、著者等（分担項目、頁）、出版社、発行年  
学術論文—全著者、年、題目、誌名、巻（号）、通頁  
参考業績—学術論文に準ずるもの、特許や外部資金獲得、社会貢献等の実績  
なお、学会発表は件数のみで可  
教育実績—担当授業科目、場所、期間  
\* 学術論文別刷りについては、すべてPDFファイルにして、記録媒体（USBメモリ又はCD-Rなど）で提出する。その他の業績はPDFファイル又は紙媒体で提出する。
- (3) 現在までの教育研究内容の要約（800字程度）  
(4) 着任後の抱負（800字程度）  
\*教育・研究・社会貢献・管理運営等について記載すること。  
(5) 博士の学位を未取得の者は、取得見込みを証明できる書類  
(6) その他参考となる資料

3. 応募期日 : 令和7年1月20日（当日消印有効）  
(書留等確実な方法を用い、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びメールアドレスを明記のこと)

4. 送 り 先 : 〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長  
(封筒に「農業機械システム工学教育分野」と朱書のこと)  
\*なお、応募書類等は原則返却いたしません。ただし、返却を希望の場合は返信用封筒等をご用意いただければ、着払い等で返送いたします。
5. 選 考 方 法 : 一次:書類選考  
二次:面接及びセミナー  
(但し、旅費等の経費は自己負担とする。状況によりオンラインでの実施も可能。)
6. 問い合わせ先 : 農学部総務チーム 電 話 (089) 946-9803  
F A X (089) 977-4364  
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp  
※メールの件名を「農業機械システム工学教育分野  
公募」とすること。

[付 記]

コースの状況(令和6年11月20日現在)

教 員:教授4、准教授5、講師2

[うち農業機械システム工学教育分野:教授1、准教授1]

兼任教員:教授3、講師1

(参 考) 愛媛大学先端農業R&Dセンターの活動に関しては、下記URLを参照のこと。

<http://igh.agr.ehime-u.ac.jp/index.html>

- (1) 本学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、教員の選考を行うとともに、ダイバーシティ研究環境実現の取組を推進しています。
- ・若手研究者キャリア支援事業:若手研究者(出産・育児負担のある女性研究者及び男性研究者)に研究活動の維持・促進、キャリア支援を行う目的で研究支援員を配置する制度です。
  - ・研究者キャリア支援事業:出産・育児・病気が等治療・介護・管理運営等業務のため研究活動に支障が生じた場合、事案ごとに、研究者本人、または該当研究者が所属する研究室に研究支援員を配置する制度です。(管理運営業務に対する支援は女性研究者限定)
  - ・夫婦帯同雇用支援事業:教員のパートナーが研究者でありかつ別居している場合、該当研究者が一定期間研究活動を行うことができるように本学の研究者として採用する制度です。
  - ・保育施設:「えみかキッズ」(城北キャンパス)、「あいあいキッズ」(重信キャンパス 医学部附属病院保育施設)の2箇所を設置しています。「あいあいキッズ」には、病児保育制度もあります。
  - ・学童保育:春・夏・冬の長期休暇中の学童保育を実施しています。また、「あいあいキッズ」では、通年の学童保育を実施しています。
- (2) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。  
なお、選考の結果を愛媛大学公式ウェブサイトで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。

愛媛大学採用情報:<https://www.ehime-u.ac.jp/recruit/>

注) テニユア教員育成制度

愛媛大学では、教育・研究・マネジメントにバランスの取れた総合力の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テニユア教員育成制度」を導入しました。

新規採用された助教ならびに一部の講師及び実務家教員等(教授、准教授等)について、5年の任期中の最初の3年間で、本学教員としての業務全般に関わる能力開発プログラム(合計70時間以上)と、研究費の配分等の財政的支援を提供します。

期間中の3年目に中間審査を、5年目に最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職(終身雇用)に移行させます。ただし、最終審査に不合格となった場合は、5年で任期満了となります。

なお、詳細については本制度に関するホームページ

(URL:<http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>)をご覧ください。